

気に満ち溢れておりました。

懇親会は横浜中華街へ移動し、「四五六菜館 本館」にて本格中華の味を堪能していただきながら、メンバーと意見交換をしていただくことで、サマーコンファレンス2024を振り返りながら懇親を深めていただきました。

最後に、当日までの準備、そして当日の設営に至らぬ点多くございました。委員会内で反省点を共有し、この経験を糧に今後の活動に活かしてまいります。改めまして、横浜の地までご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

運営特別委員会
今村 雄一



サマヨン参加者集合写真

Report

◆第43回川越百万灯夏まつり
日時：2024年7月27日（土）・28日（日）
開会：16：00
閉会：21：00
会場：にぎわい広場（今西パーキング）

去る7月27日（土）及び30日（日）に、第43回川越百万灯夏まつりが開催されました。（公社）川越青年会議所は、会員開発育成委員会と社会開発委員会担当のもと、にぎわい広場（今西パーキング）にて「夏空で触れる日本の文化」をテーマに光る小凧制作とJC神輿企画を行いました。小凧制作は5月例会メイン事業でご協働いただいた入間川凧の会様にご指導いただき、委員会内でアレンジを加え光る折り紙やペンライトを使用した光る小凧として参加者に制作をしていただきました。

JC神輿企画は2019年以降お披露目できていなかったJC神輿をにぎわい広場に展示し、参加者に提灯などの飾りつけをしていただき、フォトスポットで神輿と一緒に記念撮影をしていただきました。30日のお祭りの最後に（公社）川越青年会議所メンバーで川越商工会議所周辺にて神輿を担ぎ、まちの人びとにお披露目をさせていただきました。27日（土）の夜はあいにくの空模様となってしまいましたが、約50名近い（公社）川越青年会議所メンバーの協力もあり、2日間に渡り約1500名の参加者に楽しんでいただくことができました。多くの方々に川越の新たな魅力に気付いていただき、まちの活性化の一助となったと確信しております。ま

た、神輿担ぎを通じて（公社）川越青年会議所メンバーの気持ちが一つとなり、今後の活動への士気を高めることができました。伝統ある川越百万灯夏まつりを通じ、多くの（公社）川越青年会議所メンバーが来場者と触れ合うきっかけとなり、自分たちの活動を再認識していただく機会に繋がり今後の運動展開の糧になりました。

しかしながら、多くの来場者への対応や急な雨への対応など運営面において至らない点多々ございました。今後は反省点をしっかりと共有し、更なる運動展開へと繋ぐこととお約束しご報告とさせていただきます。当日ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

社会開発委員長 影山 大樹



川越百万灯夏まつりの様子



商工会議所前で神輿と一緒に記念撮影

理事会報告

第8回理事会
日時：2024年8月6日（火）19時00分～21時02分
会場：川越商工会議所 2階 会議室

- 議案
- 第1号議案 2025年度役員候補者に関する件
 - 第2号議案 2024年度第一次補正予算(案)に関する件
 - 第3号議案 令和七年川越希望の一文字後援依頼(案)に関する件
 - 第4号議案 第76回日本じゃがいもクラブ全日本選手権大会事業(案)に関する件

全議案とも、原案通り可決承認されました。

出席理事 16名中12名

公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2024年8月号
発行：公益社団法人川越青年会議所 2024年度理事長 相原 広明
〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12
tel：049-229-1810 e-mail：info@kawagoe-jc.or.jp https://kawagoe-jc.or.jp/
編集：総務委員会 印刷：株式会社 櫻井印刷所



相原広明理事長挨拶

Report

◆8月例会 8月定期総会・8月懇親会
日時：2024年8月8日（木）
<8月定期総会>
登録・受付 16:30 開会 17:00 閉会 18:25
会場：初かり亭 2階大宴会場
<8月懇親会>
開会 19: : 10 閉会21:08
会場： 初かり亭 2階大宴会場
担当：総務委員会

去る8月8日（木）、初かり亭にて（公社）川越青年会議所8月例会8月定期総会並びに8月懇親会を、総務委員会が担当させていただきました。8月例会8月定期総会では、近隣友好LOMの理事長をはじめとするメンバーの皆様、（公社）川越青年会議所第59代理事を歴任された仁平広海先輩をお招きし、2025年度役員候補者並びに2024年度第一次補正予算についてLOMメンバーの皆様にご承認いただきました。第1号議案にて、次年度理事候補者として松本隆君が承認され、第2・3・4号議案では次年度監事候補者として、中島啓亨君、町田佳太君、山田圭輔君が承認されました。続いて第5号 議案から第19号議案にて15名の次年度理事候補者が承認されました。そして、第20号議案では2024年度第一次補正予算 が承認されました。本総会の承認をもって、2025年度の新体制が確立され次年度に向けて素晴らしいスタートを切ることができました。また、松本隆君による所信表明では、絆が繋がる川越の創造に向けた次年度への熱い想いを会場の皆様には感じていただけたと考えております。そしてオリエンテーションでは仁平広海先輩より、ご自身の経験をもとにJC運動の本質や、限りある時間の中で本気でJCに取り組むこと

の意義や大切さをお話していただきました。役員含めメンバー一同、身の引き締まる空気の中8月定期総会を閉会いたしました。

その後同会場にて近隣友好LOMの皆様、仁平広海先輩にご出席いただき、8月懇親会を開催させていただきました。第64代理事長相原広明君、次年度理事長予定者松本隆君、仁平広海先輩のご挨拶に始まり、次年度監事予定者の3名が紹介され、次年度監事予定者の中島啓亨君よりご挨拶を頂戴し、直前理事長樋口直喜君より乾杯の発声をいただき8月懇親会が開会いたしました。歓談が盛り上がったところで改めて次年度役員予定者を紹介させていただき、近隣友好LOMの皆様からご挨拶と次年度理事長予定者・内定者、専務理事予定者・内定者のご紹介をいただきました。そして懇親会も終盤を迎え、若い我らを斉唱し、重成監事の大締めをもって閉会を迎えました。近隣友好LOMの皆様と懇親を深め、次年度へ向けて団結を図ることができたことで、今後の活動の推進力へと繋がったと確信しております。

8月例会8月定期総会並びに8月懇親会では、2025年度体制の承認を問わせていただく大変重要な場であることから、事前準備から例会当日にむけて総務委員会メンバー一丸となって臨んでまいりました。しかしながら、当日は設営や運営において反省点もございました。こちらに関しては、委員会にてしっかりと検証し12月定期総会に向けて活かしてまいります。総務委員会メンバー一同、いま一度初心に立ち返り、真心溢れる組織づくりに向け引き続き邁進していく所存でございます。ご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げ、8月例会の報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

出席率 90.7%
総務委員長 海沼 秀幸



仁平広海先輩にお越しいただき、オリエンテーションをいただく



2025年度理事・監事予定者記念撮影

2025年度理事長立候補所信

公益社団法人川越青年会議所 二〇二五年度
理事長立候補所信

松本 隆

現在も世界を取りまく環境は日々変化し続けており、時代と共に地域社会も変革の時を迎えています。人びとは多くの不安を抱えながらも目の前にある課題から目を背けず、常に前を向いて歩み続けなければいけません。我々は地域社会を牽引するリーダーとして、率先してまちの課題に取組み、人びとを繋ぐ架け橋となる運動を展開してまいります。一人では乗り越えることが困難な壁でも、皆で手を取り合い、乗り越えた先には、信頼関係が築かれて絆が育まれます。まち、ひと、組織が共に支え合い成長することで、絆で繋がる川越を創造してまいります。

「絆で繋がるひとづくり」

先行きが見えづらい時代だからこそ、誰かのために行動を起こせる人財が求められています。明確な目標を掲げ、自分ならできるといふ強い意志を持つことで、多くの人びとを導くリーダーとしての資質を高めてまいります。地域が抱える課題に真剣に向き合い、地域社会から必要とされるリーダーへと成長してまいります。次代を担う子どもたちには、他者との繋がりや対面でのコミュニケーションの機会を多く創出することが必要です。子どもたちは、多くの人びととの繋がりを通して絆を育み、実体験を積み重ねることで、多様な価値観や柔軟な思考を持てるようになります。そうすることで、自身の将来像を明確に思い描き、目標に向かって歩み続ける人財へと成長することができます。

「絆で繋がるまちづくり」

まちの人びとが未来に希望を持ち続けるためには、そのまちの若者たちが広く地域活動に関わることが求められます。地域社会、行政、諸団体と連携を図り、そこに若者の柔軟な発想が加わることで、まちの魅力を今まで以上に引き出せるようになります。多くの人びとが、まちに関わりを持つことでまちに愛着を持ち、絆で繋がる地域社会の発展に取り組んでまいります。また、地域社会の一員である企業は、目先の利益のみに囚われるのではなく、時代の変化に柔軟に対応し、地域社会との共生を図ることで、互いの信頼関係を築き、企業の存在価値を高めてまいります。そうすることで、地域社会と絆で繋がる企業として発展してまいります。

「絆で繋がる組織づくり」

青年会議所活動の根幹は活発な委員会活動にあり、仲間と本音で議論し互いを認め合うことで強い絆が育まれ、個々のスキルが磨かれます。組織が今まで以上に発展していくためには、これまで築き上げてきた堅実な組織運営を行うと共に、時代の変化に柔軟な思考を兼ね備えた活動に取り組んでいくことも必要です。また、全国の仲間たちとの交流を通じて、新たな発想も取り入れてまいります。大きな課題である会員拡大は、メンバー一人ひとりが当事者意識を持って取り組む必要があり、我々の運動に賛同志を同じくする仲間を多く募ってまいります。そのためにも、我々の運動を広く効果的に発信し、多くの人びとに存在価値を示してまいります。そうすることで、(公社)川越青年会議所は、仲間を信頼し共に支え合う、強い絆で繋がる組織へと発展し続けてまいります。

「最後に」

半世紀以上の長きにわたり、多くの先輩諸兄姉から歴史と伝統が引き継がれてきた、(公社)川越青年会議所は六十五周年を迎えます。また、本年は関東地区協議会の会長を輩出するにあたり、(公社)川越青年会議所の存在を関東中に周知することで、メンバー一人ひとりの新たな成長に繋げてまいります。私は青年会議所に入会し、かけがえのない仲間や多くの経験を得ることができました。その感謝の気持ちを忘れずに、第六十五代理事長という大役に誠心誠意努めてまいります。



2025年度理事長所信表明を行う松本隆次年度理事長予定者



相原理事長から松本次年度理事長予定者へと名刺の贈呈

次年度役員予定者紹介

理事	長	松本	隆
直前理事	長	相原	広明
顧問	問	渋谷	巧
副理事	長	吉田	隆人
副理事	長	上田	俊也
(委員長連絡会議議長兼務)			
副理事	長	平田	康裕
副理事	長	千田	明寛
室長	長	波田	泰明
専務理事	事	永島	慎太郎
監事	事	中島	啓亨
監事	事	町田	佳太
監事	事	山田	圭輔
総務委員	長	細田	一太
会員開発拡大委員	長	古屋	ナオキ
広報委員	長	澤野	春菜
社会開発委員	長	鈴木	裕人
青少年開発委員	長	細田	旅生
経営開発委員	長	西村	友秀
絆で繋がる人財育成特別委員長	長	浜	大輔
運営特別委員長	進士		春樹
記録会計局	吉村		雅弘

理事長・直前理事長・副理事長・室長・専務理事・監事以外の役職名は参考

Report

◆(公社)日本青年会議所関東地区協議会 第72回関東地区大会とちぎ大会

日時：2024年7月6日(土)

開会：9:00

閉会：20:00

会場：岩下の新生姜ホール

担当：運営特別委員会

去る7月6日(土)に開催されました、第72回関東地区大会とちぎ大会におきまして、多くのメンバーにご参加いただき、誠にありがとうございました。栃木県栃木市にて「みんなで結こう！共存共栄が生み出す新時代」をテーマに様々な事業が、大ホール、小ホール、屋外駐車場広場に分かれた設えのもと執り行われました。

来年度関東地区協議会会長候補者として(公社)川越青年会議所から選出された渋谷君が予定者となる会議にメンバー一丸となり参加いたしました。川越から輩出された場合、実に48年ぶりの快挙になります。渋谷会長予定者の挨拶をはじめ、相原理事長による推薦の弁を述べる姿を皆で応援いたしました。会議後は、「Digital Dream Teamプロジェクト：デジタルの可能性」と題し、メインフォーラムが開催されました。プロジェクトの成果発表をはじめ、河野太郎氏、成田悠輔氏によるクロストークディスカッションでは「Education of the future ～教育の改革～」と題して、グローバル化・情報化社会における「課題創造型」の人財育成を目的とするSTEAM教育について熱く議論をされておりました。また、屋外駐車場エリアでは、壬生町を中心とした栃木県の魅力発信ブースとして、ご当地グルメや特産品の販売がされておりました。メンバーの皆様には、様々なブースを体験・拝聴いただきながら、他地域のメンバー間の絆や地域同士の繋がりを強化する機会にいただきました。また、栃木市・壬生町は、小江戸文化溢れるまちがあり、とちぎ蔵の街大通りを車両通行止めし同時開催されていた、小江戸とちぎ祭りへも足を運び、まちの歴史や

文化に触れていただきました。

最後に、当日の設営に至らぬ点も見受けられ、委員会内で反省が残る設えもございました。この経験を活かして、今後の川越青年会議所活動へ昇華してまいる所存でございます。栃木の地までご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

運営特別委員長 今村 雄一



関東地区大会とちぎ大会の参加者集合写真



会長予定者挨拶

Report

◆(公社)日本青年会議所 サマーコンファレンス2024

日時：2024年7月20日(土)

開会：09:00

閉会：18:00

会場：パシフィコ横浜

担当：運営特別委員会

去る、7月20日(土)に開催されました、サマーコンファレンス2024におきましては、多くのメンバーにご参加いただきましたことを感謝申し上げます。サマーコンファレンス2024は、(公社)日本青年会議所主催、三大大会の一つであり、一年間の最大の運動発信の場として、次年度への運動の躍進に繋げるために成長する機会の場とされております。本年は、「Design the future」をテーマに、それぞれの地域にある課題を解決するため、まちの人びとが住み暮らす地域の理想の姿をデザインし、それを実現するための取組みとして数々のセミナーやフォーラムが執り行われました。

オープニングでは、国立大ホール初の屋内ドローンショーをはじめ、従来の光や音だけではなく、史上初の試みとして実施された香りを活用した演出や堀江貴文氏などによるトークショーが実施されました。また、「『デジコネクト』未来をつなぐ、デジタルの力」というテーマで、LINEヤフー株式会社 代表取締役 川邊健太郎氏とNPO法人イシュープラスデザイン 代表理事 寛祐介氏によるトークショーへ参加し、デジタル×デザインの視点から地域の社会課題の解決策を紐解き、いかにして魅力的な地域の未来を実現していくことが大切であるか、ということを学びました。屋外臨港パークエリアでは、体験、飲食、ステージエリアに分かれ、「未来を、あそうぼう。」と題して様々な事業が行われており、非常に魅力的であり活